

これからの道の駅の在り方を考える

第5回全国「道の駅」連絡会 総会・シンポジウムin弟子屈



①総会の様子 ②多くの方が集まったシンポジウム ③会場前の道の駅まつり ④各道の駅による事例発表

道の駅は全国で1千107駅。総会は年に一度、道の駅設置自治体で開催されていて、道内の開催は今回が初めてです。シンポジウムでは、観光庁認定の観光カリスマで町のまちづくりアドバイザーを務める山田桂一郎氏が「海外から見る道の駅の活かし方」と題して基調講演。道の駅を通して、地域が幸せで豊かになることが大切。地域性に特化したサービスでリーダーを呼ぶ仕組みづくりが必要と強調しました。

その後、各地の道の駅による事例報告と座談会を開催。訪日外国人旅行者へのおもてなしや、災害時に避難所を開設した際の対応が発表されました。

最後に、全国9プロックの代表者と共に徳永町長が登壇し、弟子屈宣言を発表。「全国の道の駅が互いに手をつなぎ、地域振興に寄与していく」と宣言し、閉会しました。

会場前では、道内の道の駅のグルメなどを集めた「道の駅まつりin弟子屈」も開催。多くの方でにぎわいました。

第5回全国「道の駅」連絡会総会・シンポジウムin弟子屈(同連絡会・町主催)が10月12日、摩周観光文化センターで開催され、全国から約1千300人が参加。観光による地域振興や災害時の対応など、道の駅が果たすべき役割について理解を深めました。

問い合わせ先/役場観光商工課商工振興係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 0 (課直通)

弟子屈高校の取り組み 自分のふるさとを学ぶ学習

弟子屈の魅力PR 観光プラン発表会

弟子屈高校(木村浩士校長)の3年生による観光プラン発表会が9月23日、町公民館で行われました。

同校では、ふるさとを学ぶ取り組みとして、本町の観光について学び、観光プランをつくる授業を実施。毎年、学習の集大成として、作成したプランの発表会を行っています。今年も10組の班が吉備津副町長や町議会議員のほかに一般の方を前にプランを発表しました。「一人にとつてのなまら〇〇」と題し、若いカップルの記念日をターゲットにする事によって再訪を狙ったものや「Crazy Sightseeing」と題し、外国人をターゲットに、鹿の解体や氷の家に宿泊し弟子屈の冬を感じてもらおうなど、高校生らしいアイデアが詰まったプランが発表されました。

英語力を発揮して バスガイドに挑戦

9月24日には弟子屈高校の生徒有志3人が「弟子屈への英語力を発揮してバスガイドに挑戦」の企画で、バスガイドの授業に力を入れていますが、実際に活用できる場面がない「観光のマチである弟子屈町ならではの取り組みがしたい」という同校と「ふるさとを学ぶ」という活動している、てしかがえこまち推進協議会会長の思いが合致して実現した。参加した生徒たちは、JR摩周駅から摩周湖第1展望台までのバスに乗車し、弟子屈の見どころや自分のおすすめ語で解説しました。



英語でのバスガイドを行う弟子屈高校の生徒

問い合わせ先/役場観光商工課観光振興係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 0 (課直通)

協力隊通信

鈴木禎洋さん



日々の活動 発信中!

地域おこし協力隊facebook(フェイスブック)
<https://www.facebook.com/teshikagachiikiokoshi/>



天気のいい日には宿の布団干し

私は協力隊に応募した際「旅人宿」と「狩猟」という2つの目標を掲げていました。

「旅人宿」は南弟子屈地域活性化協議会のプロジェクトの一つとして、旧昭栄小学校の教員住宅を利用して「旅人宿 昭栄」という形で開設。実働まで達成することができました。

私は管理人という立場で、お客さんへの対応から予約清扫などに携わっています。

残り1年半の任期の間に、町のためにも自分のためにもなるように、この2つを軸として活動を続けていきたいと思っています。

将来を見据えて町のため自分のためになる活動を

地域おこし協力隊の鈴木禎洋です。私が弟子屈に来てから早くも1年が経ちました。振り返れば、北海道の四季を満喫しながら過ごした怒涛(どたごつ)の1年でした。日本一周中から好きだった北海道に移住して、旅行だけでは分からない深い北海道を感じながら、遊びに仕事に、愛知県では一生できなかったであろう経験をたくさんさせていただくことができました。

8、9月で延べ150泊の利用があり、お客さんから毎晩いろんな旅の話を聞いたり、一緒にお酒を飲んだり、時には遊びに出かけたりと、とても充実した日々を過ごすことができました。

「狩猟」の方も、昨年度から免許の取得などの長い道のりをこなし、10月1日からついに猟期を迎えることができました。幸せなことに親身になって指導してくださる方の存在もあり、これから少しずつ経験を積みながら、一人前の猟師になれるように努めていきたいです。

宿も狩猟も私にとっては、協力隊の任期が終わった後の生活の糧という一面があります。

宿も狩猟も、まだまだスタートラインに立てたところですが、宿もまだまだ認知度も低いです。お客さんの話から気づく弟子屈の良いところもあります。今はただの趣味としが言えない狩猟も、経験を積み有害駆除ができるようになれば、畑の害虫を抑えたり、シカの個体数管理に関わったりと、町のためにもなることも見えてきます。

ご利用ください 空き家バンク・人財バンク

町で実施している「空き家バンク制度」「人財バンク制度」を紹介していきます。

10月11日現在「空き家バンク」で募集している空き家物件は9件(賃貸1件・売買8件)。今月は「登録番号21物件」を紹介します。

「人財バンク」に登録されているのは、個人登録8人、団体登録8団体。今月は、個人登録番号3 萩原寛暢さんを紹介いたします。

それぞれの詳しい内容は、町公式ウェブサイトに掲載されています。ご覧いただき、ぜひ、ご活用ください。

▶ 空き家バンクホームページ

<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/20akiya/bukken.html>

▶ 人財バンクホームページ

<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/35jinzai/index.html>

空き家バンク



人財バンク



- ▶ 場所/中央2丁目372番地6
- ▶ 建物/木造2階建て4LDK
- ▶ 建築年/1967年(昭和42年)
- ▶ 価格/330万円



- ▶ 氏名/萩原 寛暢(はぎわら ひろのぶ)さん
- ▶ 分野/自然科学・教育学習・スポーツ分野における講師
- ▶ PR/川湯EMC指導員、ツーリズムてしかがガイドマネージャーを経て、現在はフリーランス。自然ガイド、自然体験活動の企画運営を手掛けている。北海道認定アウトドアガイド(自然)、北海道認定木育マイスター、弟子屈町移住アドバイザー



問い合わせ先/役場まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)